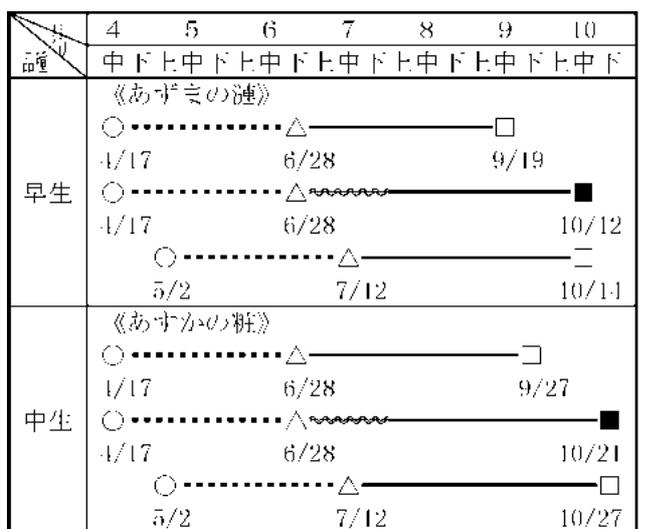


## 短日処理による 10 月出シトルコギキョウの品質向上技術

10月出シトルコギキョウの品質向上を図るためには、育苗期に引き続き定植後30日間の短日処理が有効である。

短日処理における播種適期は、早生品種で4月中旬、中生品種で4月上～中旬である。

図1 短日処理による採花時期(1996年,1997年平均)



○：播種 △：定植 ■：収穫(軽送) □：収穫(納送)  
 .....：育苗期短日処理 ~~~~~：定植後30日間短日処理

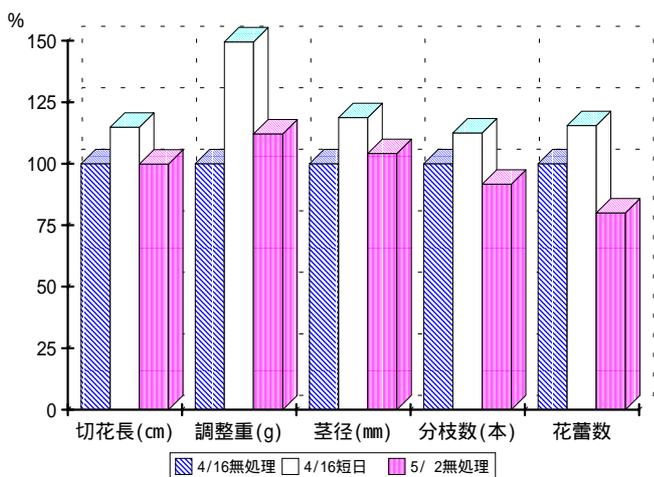
### 【採花時期】

短日処理により、F1早生品種で2～3週間、F1中生品種で2～4週間程度、採花時期が遅れる。定植後の短日処理を実施した株の採花時期は、約2週間後に播種して、定植後の短日処理を実施しない株とほぼ同時期となる。

### 【短日処理の方法】

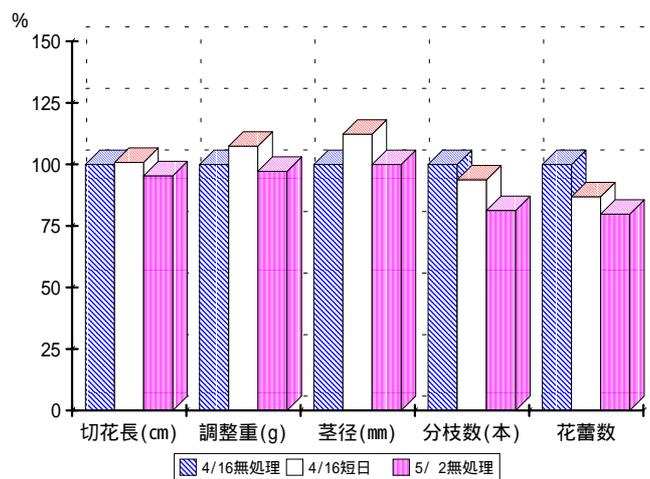
被覆資材は、高遮熱・遮光フィルムを用いる。育苗期及び定植後30日間、午後5時から翌朝午前8時まで被覆する。被覆方法は、トンネルまたはカーテン方式とする。

図2 播種時期と短日処理の有無による切花品質の対比(1997年 あずまの漣)



定植後の短日処理により、「あずまの漣」は、同時期に播種した無処理の場合及び2週間後に播種した無処理に比べ、品質が向上する。

図3 播種時期と短日処理の有無による切花品質の対比(1997年 あすかの粧)



定植後の短日処理により、「あすかの粧」の場合、2週間後に播種した無処理に比べ品質が向上する。